

考案

簡易低溫乾溜設備之關スル件

燃料局石炭

九八

0658

方針

現下液体燃料ノ實情ニ鑑ミ之ガ對應策トシテ炭礦山元ニ於テ簡易低溫乾溜設備ヲサシ水洗
硬及ビ亞硫酸ヲ以テ低溫乾溜ヲサシ炭礦ガ増産推進上最モ困却セシ油類ヲ自家精油ニ依リ
急速ニ補給充足ノ道ヲ拓キ之ガ實施セントスルモノナリ

實施要領

- 一 所要資材、タンク、パイプ等ハ廢品ヲ以テ充當スルコト
- 二 石炭統制會各支部ハ責任ヲ以テ之ガタールニ蒐集任ズルコト
- 三 右ノタールヲ硫酸並ニ分溜ニ付蒸溜設備保有工場ノ剩餘能力ヲ利用計畫ヲ定メ之ヲ處
理セシムルモノトス
- 四 製品油ハ石炭輸送ノ強化ニ資スルモノ物動枠外トシテ別途之ガ配當計畫スルモノトス

設置計畫

- 一 生産計畫（粗タール）
 - 二 基（爐）平均容量
 - 三 地（使用便）
- 概ネ一炭礦ニ五基設置セシムルモノトス

使用便月間

乾溜歩溜

粗タール

白熱硬乾溜式

2. 製品別数量

B 重油

0 重油

ガソリン

軽油

マシン油

計

3. 實施炭礦

(1) 既實施炭礦

西杵炭礦

赤池

杵島

常戸

沼龍

五〇〇〇〇地

五二五%

六〇〇一九〇〇地

一七〇一二五〇地

一九〇一二九〇地

四〇〇一七〇〇地

四〇〇一七〇〇地

四〇〇一七〇〇地

四八〇一七五〇地

(2) 實施豫定炭礦

(4) 常磐地方

内郷礦(常磐炭礦)

磐崎

好間炭礦

勿来

(4)

設計装置

所要資材表

三菱美唄

芦別

新美唄

三井美唄

砂川

空知

幌内

夕張炭礦

(二)北海道地方

高島

勝田

上山田

方城

高田

大峰

吉井

芳ノ浦

吉岡

田川

忠限

大島

・

大夕張炭礦

・

赤平

・

豊里

・

茅沼

・

雄別

・

爐一基當

丸型爐

一基

捕集装置(土管等)

一式

排風機二馬力一五馬力

一臺

0661

四 所要資材（第一次實施炭礦分）

電動機二馬力・五馬力 一臺
 粗油受容器 一揃
 貯油槽 一基

白耐火煉瓦

三五四〇〇枚

赤並煉瓦

五〇一、五〇〇枚

セメント

一四七五〇袋

砂及パラス

火山灰若々ハ石灰

一一八〇袋

アスベスト糸

五九〇疋

鐵板 鋼 3.0/4.0 X 1000 X 1800 mm

三〇六五枚 九五五八〇疋

丸鐵棒 鋼 1.5 X (長 1800 mm)

八八五〇〇分 一七七〇〇〇

レール 1.8 寸 長 1.0 m

二九五〇本分 二六五五〇

放熱環

二九五個 六、九五〇

接續管 内径100mm(長1000mm迄) 七三三五 米分 六七八五〇

所要機器及裝置 (第一次實施炭礦)

排風機、二馬力一五馬力ノモノ

五〇臺

電動機、二馬力一五馬力ノモノ

五〇臺

粗油受容器

五〇個

貯油槽

五〇個

五 第一次實施炭礦

(1) 既實施炭礦ヲ各々擴充セシメ五乃至十基、設置セシムルモノトス

(三 礦)

(2) 當處地方十二炭礦ニ急速ニ設置セシムルモノトス (一二 礦)

六 技術指導

差當リ資材面ノ有効利用及ビ歩溜リ效率ヲ勸案シ入山式ヲ採用セシムルモノナルモ既實施炭礦タル西杵式及ビ入山式ヲ綜合研究中ニシテ石炭統制令ヲシテ技術指導ニ當ラシムルトス